

溶接仕様の BI-Lok 継手に関するお願い

溶接仕様の BI-Lok 継手（片側：ダブルフェルール仕様×反対側：溶接仕様）につきまして、溶接時のナット・フェルール類取り外し、及び溶接後の潤滑剤剥離懸念など、取扱い方法にご注意いただきたく、下記の通りご案内申し上げます。

— 記 —

1) 対象品名： 溶接仕様の BI-Lok 継手（下記型式参照）

DCB : おすパイプ溶接コネクタ

DCW : チューブさし込み溶接ユニオン

DLW : チューブさし込み溶接エルボ

DLB : おすパイプ溶接エルボ etc



参考) DCB 継手 写真

ボアスルータイプ含む

2) 取扱い注意事項（弊社 HP 上のカタログ P.4 を参照下さい）

https://www.ihara-sc.co.jp/item/pdf/bilok_jp.pdf

① 溶接時、必ずナット・フェルールを継手本体から取り外してください。

② 継手本体テーパ部には、潤滑剤が塗布されています。

・溶接後の焼け取りは、潤滑剤に影響がないドライブラシ、スポンジ研磨剤等の使用を推奨します。

・溶接時および溶接後の焼け取り、洗浄を実施する場合、本体テーパ部への接液によって、潤滑剤が剥離しないように十分留意ください。

・万が一、潤滑剤が剥離した場合、又は剥離が懸念される場合（洗浄液がテーパ部に付着等）、弊社営業までご連絡ください。

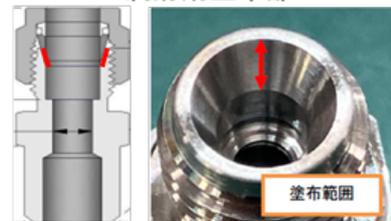
※潤滑剤剥離により継手締込み時に、フェールの焼き付き、カジリや漏れの問題が発生する可能性があります。

・焼け取り除去方法のマニュアルが必要な場合も、弊社営業までお問い合わせください。

3) その他

ご不明な点は、弊社営業までお問い合わせください。

潤滑剤塗布部



以上